

# Mランド丹波ささ山校 ニュース Vol.5

平成19年3月1日発行 篠山自動車教習所 兵庫県篠山市池上569 発行責任者 井 階 正 義

Mランド丹波ささ山校  
ウォッチング！

■二〇三月はゲストが集中し、一年の内で教習所が最も賑わう時期です。

高校を卒業し新たな進路に向けての準備として、多くの若者が自動車免許を取得されるからです。

ここ篠山では、入所の手続きに保護者の方が一緒に受付にお越しになられることが少なくありません。その光景は免許取得にこれからの活躍を託し、我が子の旅立ちを見守る親の姿に映ります。そしてそれは教習所にかける期待の現われであるとも思います。

私たちも、多くの方にこの教習所にお越しいただき、いろいろな面をご覧いただきたいと思っています。

Mランドの特徴や力を入れて取り組むは所内のいろいろなものに表現されていますが、保護者の方にはご紹介資料をお渡しするようにしております。

その資料は、つぎのような書き出しで始まります。

指定自動車教習所は、基準的なこと、カリキュラム、効果等は全国どここの教習所に行っても

同じですが、運営する理念、職員の資質によりそれぞれ違いが見られます。

「教習所は運転技術を教えるところ」と考える教習所と「ゲスト(教習生)が運転技術を習得するためにお手伝いをするところ」と考える教習所では、主役がどちらであるかという点からして、自ずから様子や対応が違ってきます。(以下省略)

ゲストが「こんにちは」や「ありがとうございます」の一言が言えるようになつたなら、それは単に運転免許取得ということだけでなく、Mランドでの取り組みの成果が表れたものだと思います。

私たちは、そうした場の創造や勇気をもって挑戦するゲストを温かく見守り励ます役目だと思います。



仲間の頑張りと喜びにも互いに拍手をします。

オニは外！福は内！

■二月三日、節分の日に合宿ゲストと職員とで夕食会をして交流を楽しみました。

手巻き寿司と丹波篠山名物の猪汁に舌鼓、そしてゲストからの選抜で初めての巻き寿司にも挑戦していただきました。オリジナルの巻き寿司ということで篠山にちなんで「デカンショ巻」と名づけ、巻いたお寿司をみんなで分けあて食べました。



挑戦者黒一点の田中さん(右端)。できばえは…？

最後は、健康祈願、心の鬼も追い払おうと職員扮する鬼役めがけてしつかり豆を投げつけていました。(篠山は黒豆の里だけに黒豆をまくのはもったいなく、落し方も掃除のことも考えて、落花生を使いました。)

つながりの面白さ

■一人の十八歳の女性が合宿で入所されたときのことです。暗い表情で、こちらからの問いかけにもボソボソと単語を並べるだけの受け答えだけ。しばらくは「大丈夫かな？」と心配な観察が続きました。

入所から一週間あたり、そんな彼女が大変身？本来もついていたものが、何かによって触発されて顕在化したのでしょうか。表情が一変したのです。楽しそうな会話と輝くような笑顔が見られます。前日までの彼女とは別人のようです。ゲスト同士の交流、そして後輩にも一緒にトイレ掃除に参加しようと誘うのです。とても勇気ある行動で、そんな彼女の行動が次々に波及して、ボランティア活動は活況を呈してきました。

「一人から始まりみんながつながる。」その様の面白さと彼女の勇気に私たちはおおきに感動し、学ばせていただきました。

そして、卒業時には帰りたくないと言って名残を惜しむ様子に、Mランドとして私たちの行なっていることは確かなことと自信を深めることができました。ありがとうございました。

カフェ「ミロ」一周年

来る三月二十日、カフェ「ミロ」が皆様のご愛顧のおかげで一周年を迎えることになりました。

ありがとうございます。

教習の合間のティーブレイク、お昼のランチや焼き立てパンをおやつにワイワイ楽しむ光景はもちろん、教習生の方以外にもごひいきの常連さんができました。明るく、気軽に立ち寄れるお店づくりに努めてまいりますので、今後ともよろしく願いします。

## ◆記念イベント◆

・限定スイーツ販売  
タルトプリン  
・抽選会



スタッフ一同、笑顔で来店をお待ちしています。



## 魂の友よ(ソウルメイト)

■早朝の館内ロビーに明るく軽快な音楽が流れます。

「生かされているんだ！」

その私に

私たちが 気づいた時  
しぜんにできる一つの輪

そうです 私たちは

ソウルメイト

そうです 私たちは

ソウルメイト

ともにこの世界を

ソウルメイト

生きてゆこう

当Mランドの社長、小河二郎作詞、島根県益田市内の小学校教諭、広兼信俊先生作曲の歌「魂の友よ(ソウルメイト)」です。

この歌は、特に若い二輪のゲストに対して、「事故をしない、良いライダーで、良い人生を！」との啓発メッセージ。

仲間とともに安全運転を心がけ、事故で命をなくさないようにとの思いが込められています。

人とふれあう大切さ、命の尊さを訴える詞を口ずさ

み、卒業してからもこの歌を思い出して頑張ってもらえれば…と願っています。



## 合宿仲間バンザイ!

■若者は仲良くなるのがうらやましいくらいじょうずです。まして同じ目的で入所した仲間同士なら仲良くなるのにそんなに時間はかかりません。

そんな彼等も初めて合宿を体験するのですが、それが約二週間にわたれば過去に経験のないことの連続だと思います。

ゲストが殺到する時期には、シングルルームは受け付けず、合宿は全て相部屋でお願いしており、友達同士

での入所もあれば単独で初対面の方との相部屋を希望するゲストもいらっしゃいます。

現代はそれぞれ自分の部屋があり、気ままな個室生活が一般的なのですが、あえて相部屋にこだわるのは、実はそこにもMランドたるゆえん、ねらいがあるからです。

「合宿生活で学んでいたことがありません。」

各部屋には、つぎのような一文が掲げられています。

二十四時間をともに起き、ともに食べ、ともに学び、ともに笑い、ともに語り合い、そして眠る。

友と過ごすこの経験はとても貴重なことです。みなさんが成長するまたとない機会です。

目的を同じくした友がかわらににいることほど素晴らしいことはありません。

きっと小学生や中学生の九年間よりもっと学ぶことの多い実り多い機会となります。

たとえば、あいさつが気持ちよくできるようなになります。そうじをすることが楽しくなり、ともに語り合い、友が喜ぶことが嬉しくなります。これからの人生がよりイキイキとしたものになります。

人生で最も大切に希望にあふれた時代だからこそ、せっかくの合宿生活を楽しみ、免許以上のことを学んでいたきたいと、私たちは心から願っております。

Mランド 社員一同

## 卒業生メッセージ

今までありがとうございました。教習の始まりの時の「お願いします」の挨拶にとっても心がこもって毎回の気持ちよく教習に取り組むことができました。運転のことだけでなく、挨拶することの大切さを学ぶことができました。これからも心をこめて挨拶していきたいと思いました。

(滋賀 土田麻紗美様)

交通の場も普段の生活においても、社会は人との関わりで成り立っています。互いに認め合うことの大切さに気づく瞬間です。

皆さんには本当にお世話になりました。私は半クラツチがなかなかでず涙したこともありましたが、なんとかここまでやってこれました。良いアドバイスをたくさんしていただきありがとうございます。ありがとうございました。

PS. もう半ケツにならんように気をつけます(笑)

(朝来市 福田裕子様)

## 編集後記

■今年の冬は例年になく暖かいようです。とはいえ、篠山では外の水道管が凍りつくこともままあり、寒さは厳しいように思います。盆地特有の気候でしょうか。この時期にも朝は霧が深く、一日の寒暖の差が激しく、それがおいしい産物を育てるのでしょう。

一日の業務を終え外に出ると、コース照明が消えた冬の夜空に星がまたたきます。

たまたま通りかかったゲストに「空を見て！」と声をかけると、「さすがに篠山は伊丹空港に近いから…」飛行機の点滅する赤い光がいくつも飛び交います。

「いや、そうじゃなくて…」と言いながら、目が慣れにくるとじきに「ワー」という声が上がります。そして「星空なんて見たことない」とか「前に見たのはいつごろだったか」などつぶやきが聞こえます。

冴えた空気に冬の星はなんともいえず美しく輝きます。

(文)

